

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アフタースクールわんぱく		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 19日		2024年 11月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・広いスペース	室内でも思い切り身体を動かせる。人数や活動内容に応じた場所の使い方。ゆとりを持ったパーソナルスペースの確保。	クールダウンのための閉ざされた空間作り。
2	・法人内の事業所との情報共有、幼児期から成人後までライフステージに応じた支援。	キッズを卒業したお子さんがアフターを利用し、卒業後、デイズ(生活介護)やアシスト・サポートわんぱくを利用する等年齢に応じた様々な支援を行っている。	中高生の放デイとして、思春期の子どもたちや保護者を支えるために必要な知識を身につける。卒業後を見据えた支援を行い、安心して社会で生活できるようにする。
3	小さな職員集団	毎日ほとんど変わらないスタッフで活動しているため、日々変化する子どもの様子が分かりやすく迅速に対応しやすい。昨日と同じスタッフがいることが、子どもたちの安心感につながる。	人手不足を解消しつつ、チームワークの良い支援を続けていくこと。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材不足	車の運転ができるスタッフが少なく、送迎や外出活動が難しい。 利用者は中高生主体で男子が多いが、男性スタッフが少ない。	必要な人材の確保
2	広いスペース	支援の目が行き届きにくくなる。 集団でまとまって活動をするときに集まりにくい。 環境整備に時間がかかる。	活動スペースの制限
3			